

## 特集「SDGs の医業への活かし方」

著者：小野瀬由一

(公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会本部監事・  
東京都支部「医業 SDG s 経営研究会」代表)

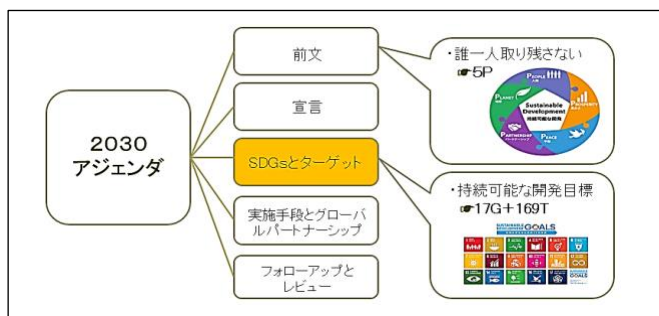
### 【シリーズ 2】SDGs とは何か

SDGs は 2015 年の国連サミットで採択された『2030 年アジェンダ』であり、その構成は、「前文」「宣言」「SDGs とターゲット」「実施手段とグローバルパートナーシップ」「フォローアップとレビュー」となっています。この「前文」では、誰一人取り残さない持続可能な開発を行う上で、5P (People 人間・Planet 地球・Partnership パートナーシップ・Peace 平和・Prosperity・豊かさ) の実現が重要としています。また、「SDGs とターゲット」では、測定可能な 17 の目標 (Goals)、169 の課題・手段 (Targets) 及び 230 の指標 (Indicators) が提示されています。

その中で、17 の目標は、「1:貧困をなくそう」「2:飢餓をゼロに」「3:すべての人に健康と福祉を」「4:質の高い教育をみんなに」「5:ジェンダー平等を実現しよう」「6:安全な水とトイレを世界中に」「7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「8:働きがいも経済成長」「9:産業と技術革新の基盤をつくろう」「10:人や国の不平等をなくそう」「11:住み続けられるまちづくりを」「12:つくる責任つかう責任」「13:気候変動に具体的な対策を」「14:海の豊かさを守ろう」「15:陸の豊かさも守ろう」「16:平和と公正をすべての人に」「17:パートナーシップで目標を達成しよう」となっています。また、169 の課題・手段では、数値のターゲットは課題、英語のターゲットは解決手段が提示されています。さらに、230 指標では、グローバルな共通指標が提示されています。

この中で、医業に直接的に関係する「目標 3:すべての人に健康と福祉を」の課題・手段として、3.1 から 3.9 までの課題と 3.a から 3.d の解決手段が提示され、また、指標として、3.1.1 から 3.d.2 までの 28 指標が提示されています。

しかしながら、これらのターゲットや指標は、国レベルの解決すべき課題、解決手段や指標となっており、自治体や民間の医業機関で採用するには工夫が必要です。



### 【参考図】

SDGs2030 アジェンダ  
の構成

(【シリーズ 3】に続く)